２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（２月入試）

教室名（分野名）	哲学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	英語
出題の意図	哲学の専門的研究を遂行するために必要な外国語の読解能力があるか、確認する。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

東京都立大学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻【哲学教室（哲学分野）】
2026年度入学試験問題〔2月入試〕（博士前期課程）

※一問につき答案用紙一枚を使用すること。

英　語

1. 全文を和訳しなさい。

Were it possible that a human creature could grow up to manhood in some solitary place, without any communication with his own species, he could no more think of his own character, of the propriety or demerit of his own sentiments and conduct, of the beauty or deformity of his own mind, than of the beauty or deformity of his own face. All these are objects which he cannot easily see, which naturally he does not look at, and with regard to which he is provided with no mirror which can present them to his view. Bring him into society, and he is immediately provided with the mirror which he wanted before. It is placed in the countenance and behaviour of those he lives with, which always mark when they enter into, and when they disapprove of his sentiments; and it is here that he first views the propriety and impropriety of his own passions, the beauty and deformity of his own mind. To a man who from his birth was a stranger to society, the objects of his passions, the external bodies which either pleased or hurt him, would occupy his whole attention.

(Adam Smith, *The Theory of Moral Sentiments*)

2. 全文を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(Patrick Riley, *The Philosophers' Philosophy of Law from the Seventeenth Century to Our Days*)

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（２月入試）

教室名（分野名）	哲学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	フランス語
出題の意図	哲学の専門的研究を遂行するために必要な外国語の読解能力があるか、確認する。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

東京都立大学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻【哲学教室（哲学分野）】

2026年度入学試験問題〔２月入試〕（博士前期課程）

※一問につき答案用紙一枚を使用すること。

フランス語

1. 全文を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(Emmanuel Kant, *Critique de la raison pure*, traduction française par A. Tremesaygues et B. Pacaud)

2. 全文を和訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

(Philippe Sellier, *Moralistes du XVIIe Siècle*)

２０２６年度　東京都立大学大学院
人文科学研究科　入学試験
（２月入試）

教室名（分野名）	哲学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識
出題の意図	哲学の専門的研究を遂行するために求められる一定の哲学史的知識をもつか、確認する。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

東京都立大学大学院人文科学研究科文化基礎論専攻【哲学教室（哲学分野）】
2026年度入学試験問題〔2月入試〕（博士前期課程）

※一問につき答案用紙一枚を使用すること。

基礎知識

1．　倫理と道徳の異同について自身の意見を述べなさい。（なお、特定の哲学者の見解を参考にしてもよい。）

以下の2から6のうち、三題を選んで答えなさい。

2．　アリストテレスの幸福論について説明しなさい。

3．　アウグスティヌスの三位一体論について説明しなさい。

4．『純粋理性批判』においてカントが旧来の経験的心理学と合理的心理学をどのように批判したのかを説明しなさい。

5．　ビラニスムについて説明しなさい。

6．　現代自由論で論じられている「フランクファート事例」について説明しなさい。